

Numazu Fresh News

狩野川改修促進期成同盟会より 地域の気持ちのこもった「要望書」を受理

発信日：2015/7/10

発信者：沼津河川国道事務所

7月9日(木)、狩野川改修促進期成同盟会の方々から、浸水被害の生の声をお聞きし、事業費の大幅増額確保に向けた「要望書」を受理しました。

事務所長からは、河川整備をより一層推進させるとともに、これまでのストック効果(経済波及効果)を説明しました。また、調査第一課長による災害対策支援室の役割等の説明に参加者は大変興味を持たれている様子でした。



会長の伊豆市長より要望書を受理

ストック効果



要望書



挨拶される同盟会会長(伊豆市長)



災害対策支援室での対応状況を説明

地域の生の声をお聞きする今回の意見交換は非常に重要なものです。流域の安全確保のための事業推進においては、地元の方々の要望に即した事業計画・事業執行になるよう努めます。

記事の詳細については河川担当副所長(TEL:055-934-2001)にお問い合わせ下さい。